

News Release



平成27年 7月 9日

各報道機関文教担当記者 殿

平成28年度金沢大学入学者選抜に関する要項の公表について

日頃から、本学の教育研究活動に係る報道等に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記のことについて、下記のとおり説明に伺いますので、よろしく願いいたします。

記

- 1 日 時 : 平成27年7月13日(月) 14時00分から
(30分程度)
- 2 場 所 : 石川県文教記者クラブ(県庁)
- 3 説明者 : 学長補佐(学生募集・入試担当) 坂本 二郎
学生部入試課長 久保 真一
- 4 内 容 : 平成28年度金沢大学入学者選抜に関する要項
について説明

<本件に関する照会先>

金沢大学学生部入試課長 久保

Tel:264-5175

<担当>

金沢大学総務部広報室 長田(おさだ)

Tel:264-5024

平成28年度(2016年度) 金沢大学入学者選抜に関する要項

～ 前年度からの主な変更点 ～

注： 推薦入試Ⅰは大学入試センター試験を課さない選抜を，推薦入試Ⅱは大学入試センター試験を課す選抜を表します。

1 旧教育課程履修者に対する経過措置 (要項 p.17 参照)

本学各学類で課す大学入試センター試験の利用教科・科目「数学」について，新教育課程により出題される教科・科目に加えて，旧教育課程により出題される「工業数理基礎」を選択解答できるものとする。(ただし，「工業数理基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校において「工業数理基礎」を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限る。)

個別学力検査等では，旧教育課程履修者に対する経過措置は講じないこととする。

2 募集人員 (要項 p.11 参照)

変更なし

3 教科・科目，配点等

(1) 大学入試センター試験の利用教科・科目 (要項 p.19～p.20, p.30～p.39 参照)

人間社会学域 学校教育学類及び地域創造学類における大学入試センター試験の利用教科・科目欄は，利用する教科・科目をパターンA～パターンDの4パターンで表記していたが，平成28年度においてはパターンA～パターンBの2パターンで表記した。

(2) 個別学力検査等の科目について (要項 p.18～p.24, p.44～p.46, p.49 参照)

- ① 「国語」については，「国語総合」を出題科目とする。
- ② 「英語」については，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」を出題科目とする。

- (3) 人間社会学域 国際学類の一般入試（後期日程）で課す教科・科目等及び配点を下記のとおり変更する。
 (要項 p.20 参照)

【変更前（平成27年度）】

教科		科目及び科目数等								
センター試験	国語 地理歴史 公民 数学	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から2 倫理, 政治・経済 } 数学Ⅰ・数学A, ◎旧数学Ⅰ・旧数学Aから1と 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎, ◎旧数学Ⅱ・旧数学Bから1								
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は ◎理科総合A, ◎理科総合B, ◎物理Ⅰ, ◎化学Ⅰ, ◎生物Ⅰ, ◎地学Ⅰから1								
	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕								
個別試験	その他	小論文(広く社会・文化に関する課題について論述させます。英文も出題します。)								
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	合計
	センター試験	200	※ 200 (100×2)		100	200	200	—	—	900
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	600	—	600
	計	200	200		100	200	200	600	—	1500



【変更後（平成28年度）】

教科		科目及び科目数等								
センター試験	国語 地理歴史 公民	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から2 倫理, 政治・経済 } 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1 〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕								
	外国語									
個別試験	その他	小論文(広く社会・文化に関する課題について論述させます。英文も出題します。)								
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	合計
	センター試験	200	※ 200 (100×2)		—	—	200	—	—	600
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	600	—	600
	計	200	200		—	—	200	600	—	1200

(4) 理工学域 電子情報学類の一般入試（前期日程）の配点を下記のとおり変更する。（要項 p.23 参照）

【変更前（平成27年度）】

配点	区分	配点等								
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	合計
配点	センター試験	100	※ 50 (50×1)		100	100	100	—	—	450
	個別学力検査等	—	—	—	<u>120</u>	<u>200</u>	<u>120</u>	—	—	<u>440</u>
	計	100	50		<u>220</u>	<u>300</u>	<u>220</u>	—	—	<u>890</u>



【変更後（平成28年度）】

配点	区分	配点等								
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	合計
配点	センター試験	100	※ 50 (50×1)		100	100	100	—	—	450
	個別学力検査等	—	—	—	<u>200</u>	<u>250</u>	<u>200</u>	—	—	<u>650</u>
	計	100	50		<u>300</u>	<u>350</u>	<u>300</u>	—	—	<u>1100</u>

(5) 理工学域 電子情報学類の一般入試（後期日程）で課す教科・科目および教科・科目等及び配点を下記のとおり変更する。（要項 p.23 参照）

【変更前（平成27年度）】

配点	教科	科目及び科目数								
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	合計
センター試験	数学	数学Ⅰ・数学A, ◎旧数学Ⅰ・旧数学Aから1と 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎, ◎旧数学Ⅱ・旧数学Bから1								
	理科 外国語	物理又は◎物理Ⅰ 英語 [3教科4科目]								
個別試験	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
配点	センター試験	—	—	—	<u>150</u>	100	<u>150</u>	—	—	400
	個別学力検査等	—	—	—	—	200	—	—	—	200
	計	—	—	—	<u>150</u>	300	<u>150</u>	—	—	600



【変更後（平成28年度）】

配点	教科	科目及び科目数								
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	合計
センター試験	数学	数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎, ◎工業数理基礎から1								
	理科 外国語	物理, 化学, 生物から2 英語 [3教科5科目]								
個別試験	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
配点	センター試験	—	—	—	<u>200</u>	100	<u>100</u>	—	—	400
	個別学力検査等	—	—	—	—	200	—	—	—	200
	計	—	—	—	<u>200</u>	300	<u>100</u>	—	—	600

- (6) 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類のアドミッション・オフィス入試（AO入試）の選抜方法について、下記のとおり変更する。（要項 p.47 参照）

【変更前（平成27年度）】

(1) 第1次選考

提出された調査書、自己推薦書、その他（各種大会等での受賞記録や各種資格の取得証明書、サークルや地域社会等での活動に関する資料・書類）により、書類選考を行います。

(2) 最終選考

第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリング及び大学入試センター試験により選考します。本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が概ね640点（80%）以上を合格の基準とし、レポートと口述試験の得点の高い者を合格者とします。

① スクーリング

1日目：受講した演示実験又は課された実験課題などについて、レポートを作成させ、提出させます。

2日目：1日目に提出されたレポートに基づいて、口述試験を実施します。数学・理科・英語などに対する勉学意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。



【変更後（平成28年度）】

(1) 第1次選考

提出された調査書、その他（自己アピールできる資料・書類等）により、書類選考を行います。

(2) 最終選考

第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリング及び大学入試センター試験により選考します。本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が概ね640点（80%）以上を合格の基準とし、レポートと口述試験の得点の高い者を合格者とします。

① スクーリング

1日目：受講した演示実験又は課された実験課題などについて、レポートを作成させ、提出させます。

レポート作成後は、自己推薦書を記入させ、提出させます。（口述試験の際の参考とします。）

2日目：1日目に提出されたレポートに基づいて、口述試験を実施します。数学・理科・英語などに対する勉学意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。

4. 推薦要件・出願資格等

平成28年度入学者選抜 推薦入試における推薦要件について①～⑩のとおり変更する。

- ① 人間社会学域 人文学類 人間科学コース（専門分野：哲学・人間学），歴史文化学コース（専門分野：日本史学，東洋史学，西洋史学），言語文化学コース（専門分野：中国語学中国文学）の推薦入試Ⅰの推薦要件を下記のとおり変更する。（要項 p.25～p.26 参照）

【変更前（平成27年度）】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり，かつ，国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で，出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合，入学することを確約できる者 4. 推薦は，1校につき1名とします。 ※ 「国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは，高等学校生徒指導要録に基づき，当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。



【変更後（平成28年度）】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり，かつ，国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で，出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合，入学することを確約できる者 4. 推薦は，1校につき1名とします。 ※ 「国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは，高等学校生徒指導要録に基づき，当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

② 人間社会学域 経済学類の推薦入試Ⅰの推薦要件を下記のとおり変更する。(要項p.26 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(若しくは中等教育学校)の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)して平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次のすべての要件を満たすもの <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校(若しくは中等教育学校後期課程)における学習成績概評がA段階以上(評定平均4.3以上)に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)して平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次のすべての要件を満たすもの <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)における学習成績概評がA段階以上(評定平均4.3以上)に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。

③ 人間社会学域 地域創造学類 環境共生コースの推薦入試Ⅰの推薦要件を下記のとおり変更する。(要項p.28参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

④ 人間社会学域 地域創造学類 地域プランニングコースの推薦入試Ⅱの推薦要件を下記のとおり変更する。(要項 p.38参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成27年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、人物及び学業成績が優秀で、地域プランニングコースでの勉学に強い意志を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できるもの
3. 合格した場合、入学したことを確約できる者
4. 推薦は、1校について2名以内とします。



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、人物及び学業成績が優秀で、地域プランニングコースでの勉学に強い意志を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できるもの
3. 合格した場合、入学したことを確約できる者
4. 推薦は、1校について2名以内とします。

⑤ 人間社会学域 地域創造学類 健康スポーツコースの推薦入試Ⅱの推薦要件を下記のとおり変更する。(要項 p.38参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成27年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 出身学校長が、次のいずれにも該当すると認め、責任を持って推薦できる者
(1) 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者
(2) 高等学校若しくは中等教育学校後期課程において、スポーツ活動に積極的に取り組み、出願時までにスポーツ競技大会において優れた成績を修めた者
(3) 人物に優れ、社会における健康スポーツの充実・発展に貢献する熱意を有する者
3. 合格した場合、入学することを確約できる者
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が、次のいずれにも該当すると認め、責任を持って推薦できる者
(1) 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者
(2) 高等学校若しくは中等教育学校後期課程において、スポーツ活動に積極的に取り組み、出願時までにスポーツ競技大会において優れた成績を修めた者
(3) 人物に優れ、社会における健康スポーツの充実・発展に貢献する熱意を有する者
3. 合格した場合、入学することを確約できる者
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。

⑥ 理工学域 自然システム学類の推薦入試Ⅰの推薦要件を下記のとおり変更する。(要項 p.28 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者

⑦ 医薬保健学域 医学類の推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠(石川県枠・富山県枠)〕の推薦要件を下記のとおり変更する。(要項 p.40 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年3月に卒業見込みの者で、平成27年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上(評定平均 4.3 以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月に修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上(評定平均 4.3 以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者

⑧ 医薬保健学域 保健学類 理学療法学専攻の推薦入試Ⅰの推薦要件を下記のとおり変更する。 (要項 p.29 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

⑨ 医薬保健学域 保健学類 作業療法学専攻の推薦入試Ⅰの推薦要件を下記のとおり変更する。 (要項 p.29 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

⑩ 医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱの推薦要件を下記のとおり変更する。 (要項 p.42 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成27年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成28年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>

⑪ 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻の推薦入試Ⅱの推薦要件を下記のとおり変更する。 (要項 p.42 参照)

【変更前 (平成27年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成27年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月から平成27年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成27年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>



【変更後 (平成28年度)】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成28年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>

5 問い合わせ先

金沢大学学生部入試課長 久保

TEL (076) 264-5175 又は

金沢大学学生部入試課入学試験係

TEL (076) 264-5169, 5177~5179